

例年に比べ暖かい日が多い今年の冬、うさぎ組の子どもたちは寒さを吹き飛ばす勢いで、元気いっぱい遊んでいます。1月から「鍵おに」という新しい鬼ごっこがあることを知り、毎日楽しんでます。鬼ごっこの始まりは、保育者がいなくても自分たちで声をかけ合い、じゃんけんをして役割を決める姿に成長を感じています。また、うさぎ組で育てているヒヤシンスも、「つぼみがみえてきた!」「ピンクだ!」「もうすぐいっぱい咲きそう」「めっちゃいいにおいする」と興味津々な子どもたちです。鬼のお面制作では、厚紙に鬼の顔の形を描いて、ハサミを使って自分で切ることに挑戦しました。画用紙を切るよりも難しく感じている様子でしたが、コツをつかむとゆっくりと自分で切ろうとする姿が見られました。それぞれの素敵なお面をつけて、節分の日には豆まきを楽しみたいと思います。劇遊びでは、“3びきのやぎのがらがらどん”を楽しんでいます。子どもたちからも「もっと大きいがらがらどんもいてほしい!」という発想から“4びきのやぎのがらがらどん”になりました。それぞれのがらがらどんやトロールの呼び名、紹介ソング等をみんなで一緒に考える中で、自分の意見を伝えようしたり、友だちの話に耳を傾けたりする姿も見られました。また、話し合いやリズム遊び等を通して、物語のイメージがどんどん広がっており、子どもたち一人ひとりの発想や思いが込められた劇遊びになりそうです。ぜひ、2月21日の保育参観日を楽しみにしててくださいね。



1月の誕生会で、写真クイズが出されました。ちらっと見たお寿司の写真を見て、「おせちや!」というAくん。隣にいたBくんが「…おすしじゃない?」と言いますが、「え?おせちだよ〜」と迷いのないAくんに、Bくんも困惑気味です。正解はもちろん「おすし」!Aくんは「おすしやったわ!」照れたように、Bくんと笑い合っていました。お正月モードのAくんと、ツッコミが優しいBくんのやり取りに、思わず笑ってしまいました。

冬本番の寒さが訪れましたが、子どもたちは上着も着ずに元気に思いきり走って遊んでいます。今、ひつじ組では『田んぼ鬼』がブームで、逃げる方向や走り出すタイミングなど、鬼と駆け引きをしながら楽しんでます。「〇〇鬼する人この指と〜まれ!」と日々いろんな種類の鬼ごっこに誘い合いながら、友だち同士の関わりを深めています。また、室内では鬼になりたい子どもたちは、鬼の面制作にもとても意欲的で色を塗ったり、貼ったり、くり抜いたり、それぞれが思い描きながら鬼制作を楽しんでいます。子どもたちは、「鬼といえぱやっぱり赤かな…」、「これかわいい鬼にするねん!」と、イメージを膨らませながら丁寧に大切に作っています。26人のかわいい鬼たちが集まる日が楽しみです。ひつじ組では今『プレーメンのおんがくたい』の劇遊びに取り組んでいます。絵本や素話など物語の世界に親しむ中で、それぞれが動物の心情を汲み取り、「かわいそうやなあ」、「みんな友だちできて良かったね」と伝え合っています。特に泥棒とのかけ合いの場面が大好きで、動物たちの応援で盛り上がります。劇に必要なものや、劇中の歌の歌詞を一緒に考えたりしながら「今日は何するの?」と日々の取り組みを楽しみにしています。子ども一人ひとりの表現を大切にしながら、友だちと一緒に作り上げることの面白さや、力を合わせることの嬉しさを感じながら取り組みを進めていきたいと思ひます。



大学の森でたくさん落ち葉を集めて運んでいた子どもたち。
Aくん「もっと運びたいなあ…」
Bくん「でももう持たれへんで。」
Cくん「みんなで輪っかになって運んだらいけるんちゃう?」
Dくん「せーので持ち上げよか!」
Eくん「じゃあ下から持つわ!」
どうすればよりたくさんの落ち葉を運べるか作戦を立て、自分ができるところを提案しながら協力する姿に成長を感じました。5人で輪になった結果、大量の葉っぱを一度で運んでいました。

寒い日が続きますが、毎日外で元気いっぱい遊んでいる子どもたちです。先月は朝、氷点下になる日もあり、その日に氷作りをしました。大学のグラウンドの日陰にある砂場が氷でいっぱいな様子を見て、朝、日の当たるぞう組のテラスと日陰になる園庭の東屋に水を張ったものを用意しておく、東屋の方にだけ分厚い氷ができました。子どもたちも「なんでこっちだけなんだろうね!」「(テラスの方は)日が当たったからかなあ」といろいろ考えを巡らせていました。また寒い日に氷の実験をして子どもたちと「どうして?」と疑問を持ったり、考えたり、子どもたちの好奇心を大切にしていきたいと思ひます。先月からいろいろな作家さんによる“3まいのお札”を子どもたちと読み比べています。「この絵本は和尚さんがお札渡さないだね」「あれ?大火事ができてきたね」等、同じ題材でも話の内容が少しずつ変わっている違いに気付き、比べることを楽しんできました。そこからぞう組オリジナルの「3まいのお札」を作ろう!という話になり、「じゃあこうしようよ」「お札の効果は絵本とは全く違うのでもおもしろいかも」「おとしあなに落ちてる間に逃げれるね」といろいろ話を作ることを楽しんでいました。子どもたちの発想を劇遊びにつなげ、一人ひとりの表現を大切にしながらぞう組だけの“3まいのお札”を作っていきたいと思ひます。ページント礼拝を経て、表現する喜びや自信を感じている子どもたちが友だちと一緒に必要な小道具や表現の仕方を考え、話し合う姿を見守りながら、ユーモアあふれるぞう組らしい劇遊びになればと思ひます。楽しみにしててくださいね。



氷作りが成功した日、
Aくん「見て!めっちゃ分厚いね」
Bちゃん「ほんとだ!あ、見て、氷の中に雪の結晶がある!」
登園してきた友だちにも…
Bちゃん「見て見て!氷たくさんできてよ!」
Cちゃん「ほんとだ!つめたー!あ、割れちゃった、見て!氷のビザみたいになった!」
Dくん「ほんとだ!いただきまーす」と完成した氷を観察したり、触ったり、登園してくる友だちにどんどん喜びを伝えていく子どもたちでした。